

2015WWCC メモリアルミックスダブルスカーリング 2022 大会

競技方法等事前通知事項

本大会は、JCA 競技規則 2021. 11 版及び下記に示す本大会独自のルールに基づき行いますが、基本的にセルフジャッジとします。

また、副審判長及び審判協力者は、札幌協会所属の出場選手・関係者の中から審判資格を保有する方をお願いをしています。ご理解とご協力をお願いします。

カーリング精神に則り、選手の協力をお願いします。

○「ポジション A」のストーン的位置は、9/24(土)試合開始前に本部席前掲示板にて、審判長より周知する。

参考のため、センターガード及びパワープレイ時のストーンの配置に関する図を最終頁に掲載しているので、参照すること。

○シートの貸切時間は決まっているため、円滑に試合を進めること。

i 予選ブロック

1) 試合方法

- ・ 1 ブロック 4 チームの総当たり戦
- ・ 試合の長さは 6 エンド又は 72 分とする。
- ・ 試合前練習は実施しない。
- ・ エキストラエンドは実施しない。(同点の場合は、引き分けとする)
- ・ 8 分前コールを行うので、そのエンドで試合を終了すること。
- ・ ハーフタイムは設定しない。

2) LSD、ストーンの選択、試投、ストーンの配置

- ・ 試合開始前に、各チーム代表 1 人による LSD を実施する。LSD は、試合開始時間より行う。
- ・ LSD の投球の順番は、トスにより決定する。先に投球するチームは赤ストーン、後に投球するチームは黄色ストーンを使用すること。
- ・ LSD のストーンの回転方向は、1 試合目は時計回り、2 試合目は反時計回りの順で投球すること。これを守らなかった場合の記録は、185. 4cmとする。
- ・ 2 試合目の LSD 投球者は、1 試合目の投球者とは異なること。これを守らなかった場合の記録は、185. 4cmとする。
- ・ 3 試合目の LSD は、ストーンの回転方向・投球者いずれもチームで選択することができる。
- ・ 各試合、LSD 投球者のみ、ホーム側からボード側に向かって 1 投の試投を認める。
- ・ LSD の短いチームが 1 エンド目のストーンの配置 A または B のポジションを選択し配置する。LSD が同値の場合はトスにより勝ったチームに選択権を与える。
- ・ DSC は LSC の最大値は取り除かず、3 試合の LSD の合計値とする。

3) パワープレイ

1 試合 1 回認める。各スキップ同士で確認し配置すること。

4) 点数の決定、計測

- ・ 計測を含めてセルフジャッジとする。チーム間で判断し難い場合は審判員又は競技役員に声をかけること。
- ・ 各エンドの点数の掲示は各チームで行うこと。

5) 予選の順位付け

- ・ 勝点(ポイントは、勝ち:3、引き分け:1、負け:0)の多い順で決める。
- ・ 勝点により順位が決まらない場合は下記の手順により順位を決定する。
 - ① 当該チーム間の直接対決で勝ったチームを上位とする。
 - ② ①により決まらない場合、DSC(LSD の合計値)の小さい方を上位とする。
 - ③ ②により決まらない場合、個々の LSD を比較し、より短い記録を持つチームを上位とする。
 - ④ ③により決まらない場合はトスにより順位を決める。

6) その他

- ・ 試合終了後のアイスの掃除は勝ちチームが行い、負けチームはスコア表を本部に提出すること。
- ・ 必要に応じてアイスメイクを行うことがあるので、ご承知願いたい。

ii 大会 2 日目の大会スケジュールについて

- ・ 大会 2 日目の第 1 試合及び第 2 試合の対戦カードは、「A2-A3」、「B2-B3」、「C2-C3」、「D2-D3」、「E2-E3」、「F2-F3」含め、大会 1 日目の 21 時まで札幌カーリング協会の HP にて発表する。
- ・ どの枠にどの対戦カードが入るかは、以下により決定する。

大会 1 日目各ブロックの LSD 値より、ブロック毎に「総 LSD 値」を算出する。総 LSD 値の数値が小さい順番に、総 LSD1~6 の順位を付ける。総 LSD1 位と 2 位のブロックは 12:10~の試合の枠に、総 LSD3~6 位のブロックは 10:00~の試合の枠に入る。

(例)総 LSD 値の順番(小さい順):A→B→C→D→E→F であれば、「A2-A3」、「B2-B3」の対戦は 12:10~ 試合開始の枠に、「C2-C3」、「D2-D3」、「E2-E3」、「F2-F3」の対戦は 10:00~ 試合開始の枠となる。

iii 順位決定戦

1) 選抜方法、トーナメントの割り当て

・ 予選リーグ 1 位グループの 6 チームは最終順位 1~6 位の決勝トーナメントへ、予選リーグ 2 位グループは最終順位 7~12 位を決定する決定戦へ進む。また、予選リーグ 3 位グループの中で DSC 上位 2 チームは最終順位 13~14 位を決定する決定戦へ進む。勝点と同じ場合は以下の手順により決定する。

- ① DSC(LSD の合計値)の小さい方を上位とする。

② ①により決まらない場合は、個々のLSDを比較し、より短い記録を持つチームを上位とする。

③ ②により決まらない場合はトスにより順位を決める。

組み合わせはタイムスケジュール及びトーナメント表を参照のこと。

2) 試合方法

- ・ 試合の長さは6エンド又は72分とする。
- ・ 8分前コールを行うので、そのエンドで試合を終了すること。
- ・ エキストラエンドは実施しない。
- ・ 試合終了時点で同点の場合は、各チーム代表者1名によるLSDで勝敗を決定する。LSDの投球順は仮に次のエンドに進んだ場合にストーン配置の選択権を持つチームが決める。
- ・ ハーフタイムは設定しない。
- ・ 試合前練習は実施しない。

3) LSD、ストーンの選択、試投、ストーンの配置

- ・ 試合開始前に、各チーム代表1名によるLSDを実施する。LSDは、試合開始時間より行う。
- ・ LSDの投球の順番は、トスにより決定する。先に投球するチームは赤ストーン、後に投球するチームは黄色ストーンを使用すること。
- ・ LSDのストーンの回転方向・投球者は、いずれもチームで選択することができる。
- ・ LSD投球者のみ、ホーム側からボード側に向かって1投の試投を認める。
- ・ LSDの短いチームが1エンド目のストーンの配置AまたはBのポジションを選択し配置する。LSDが同値の場合はトスにより勝ったチームに選択権を与える。

4) パワープレイ、点数の決定、計測、その他の事項については、予選ブロックと同様。

以上

